

港区立青山小学校

平成 29 年度 授業改善推進プラン

教育目標

○よく考え、すすんで学ぶ子 ○やさしい心を持ち、なかよくする子 ○健康で、たくましい子

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

- ・ 確かな学力を身に付けさせるために、基礎的基本的な学習内容の確実な定着を図る。
- ・ 実社会や実生活において活用していくことを鑑み、児童の実態を踏まえた教育課程を創り、日々の授業改善を通して、進んで学ぶ児童の育成に取り組む。

昨年度の成果と課題

- ・ 実物投影機やデジタル教科書を活用した分かりやすい授業の展開ができた。
- ・ 青山アカデミーにおいてユニバーサルデザインを取り入れた授業の在り方を推進できた。
- ・ 校内研究を通して、自己の思いや考えを表現する力の育成を図ることができた。
- ・ 言語活動に重点が傾き、問題解決的学習活動の実施が十分ではなかった。
- ・ 全学年に共通した授業規律の浸透が十分、図られなかった。
- ・ 授業展開における教員のファシリテーター力を高めることが課題である。

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業時数の確保 ・ 読書指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個に応じた指導方法の充実 ・ 言語活動の充実を図った問題解決型の授業デザイン ・ 学修者の能動的な学修への参加を取り入れた学習法の確立 ・ ファシリテーター力の向上 ・ ICT機器やデジタル教科書を効果的に活用し、児童が主体的に学ぶ授業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 週案簿を活用した指導と評価の一体化 ・ P D C A サイクルを活用した教育活動の改善 ・ 評価活動の工夫（自己評価、授業評価） ・ 地域・保護者による学校評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カリキュラム・マネジメントの理解や特別支援教育の研修 ・ 校内研究の推進（「進んで学び合う児童の育成」～主体的・対話的に取り組み、説明文を読み取ることができる学習～） ・ 研究主題に沿って、各学年が授業提案を行う。 ・ 校内 O J T 体制の確立と推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の生活・学習状況について、家庭との共通理解および家庭での生活・学習習慣の定着化 ・ 地域住民や企業などとの連携による体験的な学習活動の充実 ・ 保幼小中の円滑な接続を考慮した教育の連携と推進 ・ 第 1・第 3 土曜日の授業公開

具体的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ○ 週案簿、時数の管理体制の整備と放課後時間の活用。 ○ 保護者ボランティアによる読み聞かせ活動、学年に応じた読書量の数値目標の設定および表彰制度による意欲向上に向けた取組。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少人数、習熟度別指導（算数科）。 ▲ 各教科・領域において「言語活動」「問題解決的学習活動」により重点を置いた学習活動を実施する。学習展開においては、児童自身が課題を見つけ、解決に向けて探究し、成果を表現する過程を重視し、論理的思考や学びに対する主体性を身につけさせていく。 ▲ 授業において、児童一人ひとりがそれぞれ異なる経験・知識・意見などをもっていることを尊重し、それらを引き出し、対話を生み出し、相互の学びあい 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 指導内容だけでなく指導過程における形成的評価を明確にした記載を実施し、指導の振り返りおよび改善に取り組む。 ○ 教育課程に編成された内容の取り組み後に評価を実施し、改善・向上に向けた方策を立てる。 ▲ 授業のめあて・まとめを明確にすることで、児童自身が学習を振り返り、新たな目標を設定する授業展開に取り組む。 ○ 児童や学校評議員による授業評価の実施。 ○ 保護者を対象にした「外部アンケート」の実 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 校内研究において、教科横断的な視点で学校目標の達成に向けて必要な教育内容の組織的な配列を検討したりする内容も取り入れる。 ○ 特別支援コーディネーターによる特別支援教育の理解に向けた研修会の実施。 ○ 学年、専科を中心とした O J T 組織体制と互いが学びあうための時間の設定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学期毎に学習・生活リズムチェック週間を設定し、チェックシートを基に組み立てる。結果の集計・分析を行い、家庭へのフィードバックを通して啓発を図り、連携して改善に取り組む。 ○ 学校教育活動全般において、適切な項目を検討した外部アンケートを実施する。（学校評議委員・保護者） ○ 地域諸施設や専門的人材の活用（ゲストティーチャーによる学習活動） ○ 近隣保育園や特別
--	---	---	--	---

	<p>促進する指導力を身につけていく。</p> <p>○実物投影機や電子黒板・タブレットを効果的に活用した実践の共有化。</p>	<p>施、教職員による教育活動の自己評価を基に、教育課程の検討・改善・作成を行う。</p>		<p>支援学校との計画的な交流活動の実施。</p> <p>☆青山アカデミーにおいて授業のユニバーサル化に向けた研究に取り組む。</p>
--	--	---	--	---

☆→今年度からの取組 ○→定着・継続している取組 ▲→活性化が必要な取組